

## 1 月 21 日 : VN 指数は連騰がストップ (VN-Index -0.28%)

- トランプ大統領による関税政策の延期を受け、VN 指数は上昇して取引開始した。
- その後も主に銀行株がけん引役となり指数の上昇は続いた。
- しかし、後場には一転し同セクターが相場の足を引っ張った。
- 慎重な見方は依然として強く、多くのセクターが不安定に推移した。
- 147 銘柄が上昇、240 銘柄が下落、68 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 14.0%増の 11.4 兆ドンとなった。

### VN30 指数は多くの銘柄が下落 (VN-30 -0.16%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、5 銘柄が上昇、16 銘柄が下落、9 銘柄が変わらずであった。
- GVR (-1.05%)、HDB (-1.52%)、POW (-1.72%)、TPB (-1.22%) を除けば、下落幅は微小だった。
- SSB (+2.50%) が中心となって指数を引き上げた。

### セクター・個別株の動き

- 医療・製薬株の DHG (-1.74%)、DBD (-2.62%)、IMP (-1.22%)は、トランプ氏が WHO から米国を離脱させる決定をした影響を受けたと思われる。
- VCI(+1.55%)は、2024 年通期で売上高 3 兆 6,950 億 VND(前年比 49.5%増)、純利益 9,100 億 VND(同 85.1%増)と、それぞれ年間計画の 47.2%、55.6%を上回る好決算を記録した。
- 外国人投資家は引き続き売り越しとなり、1,690 億ドンの売り越しとなった。CTG (0.00%) が売り越し、PVD (+0.21%) が買い越しのトップとなった。

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。